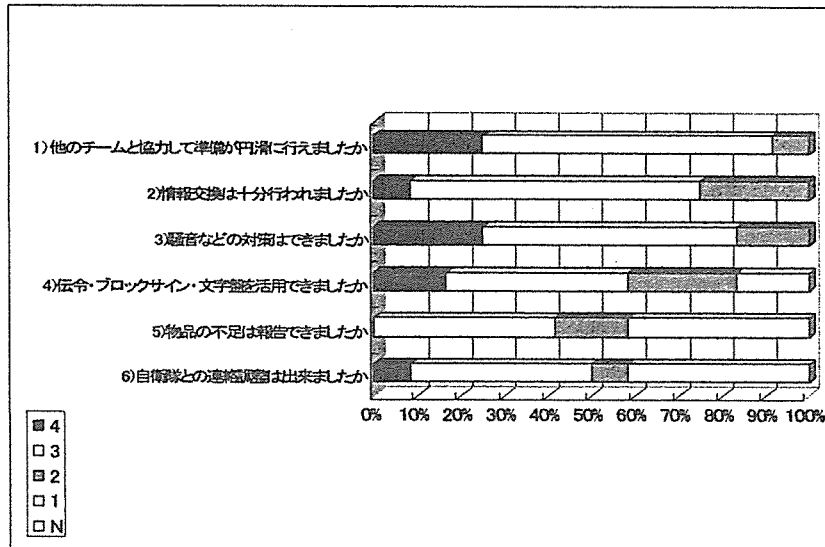
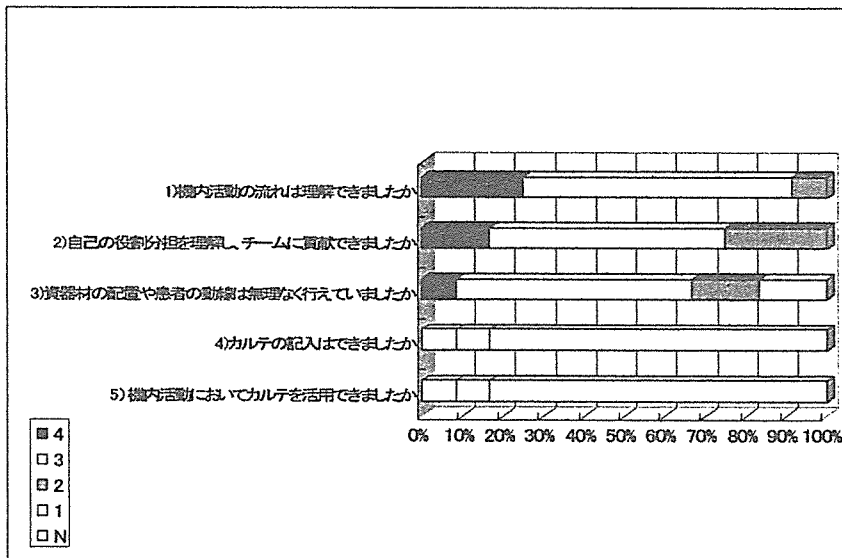


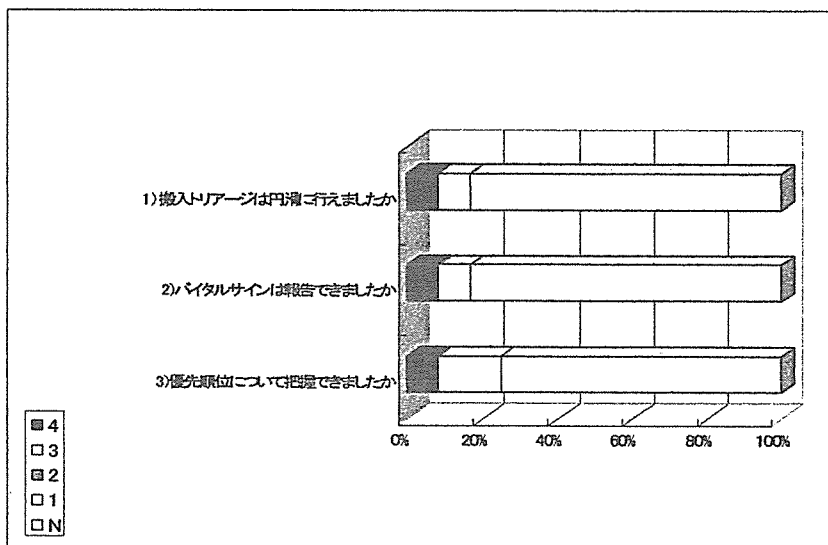
COMMUNICATION



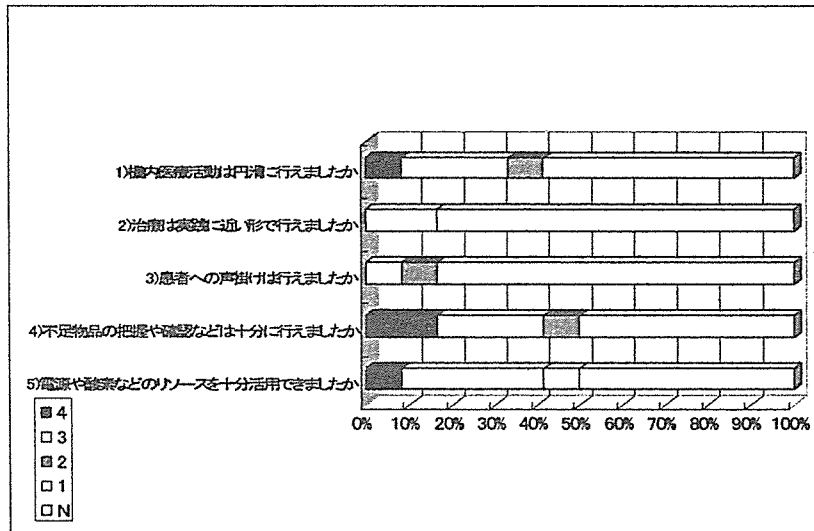
ASSESSMENT



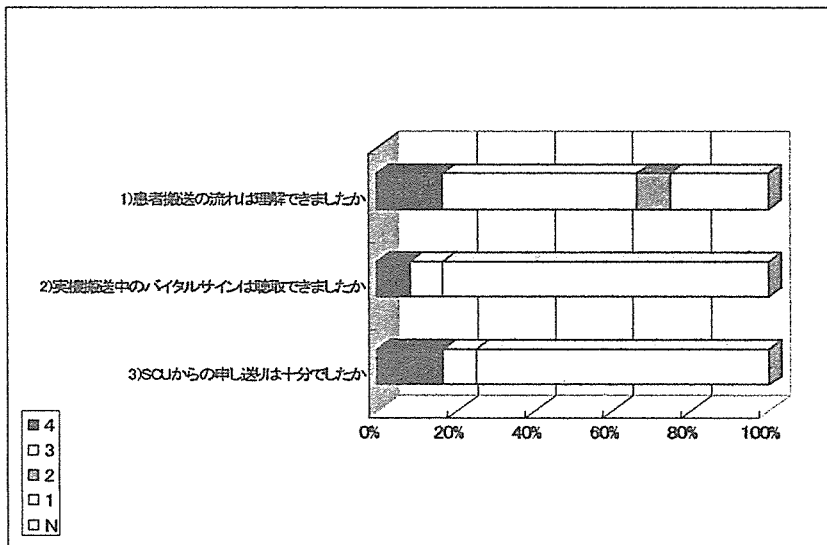
TRIAGE



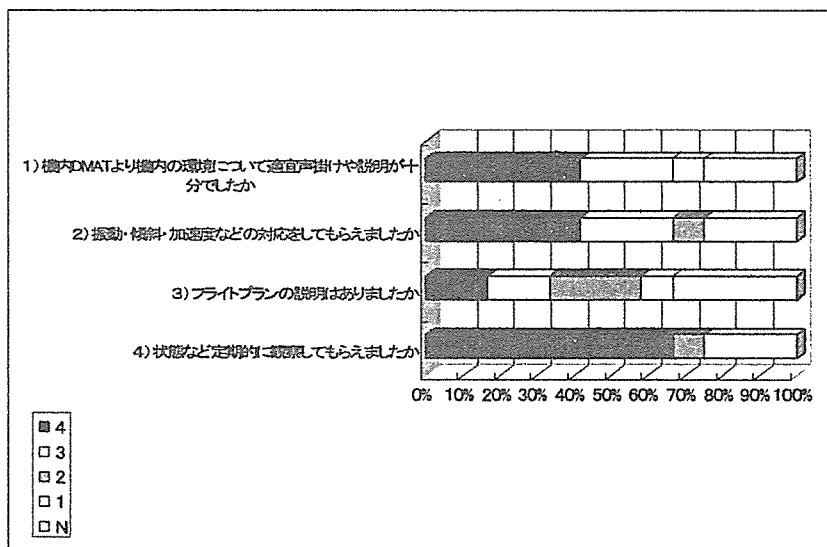
TREATMENT

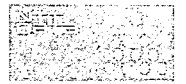


TRANSPORTATION



模擬患者





EMIS 患者トラッキング機能 実証実験結果報告

～広域医療搬送実働訓練の反省検討会～

2006年10月5日

株式会社NTTデータ

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

1. 患者トラッキングシステムとは



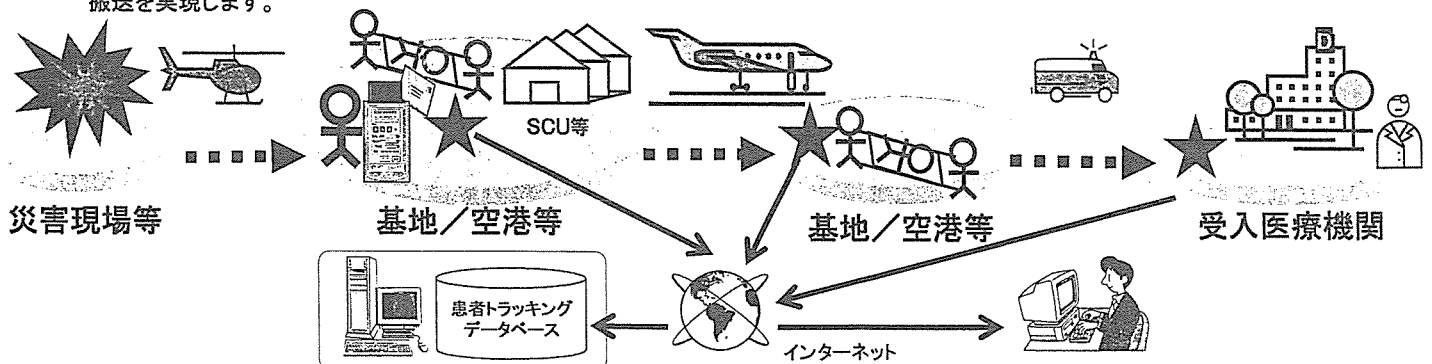
被災現場から県外の医療機関等に広域搬送される患者について、容態(トリアージ区分、症状等)や搬送経路(通過地点、収容された医療機関等)をリアルタイムに把握するためのシステムです。

【効果】

- ◆災害医療関係者が患者の搬送状況を確認することで、DMAT隊員等への適切な指示及びリソース管理を行うことができます。
- ◆受入医療機関が事前に搬送される患者の状況を把握することで、事前に適切な受入準備ができます。
- ◆被災者の家族が本システムを利用する自治体等に問合せを行うことで、患者の状況や居場所を迅速に知ることができます。

【特徴】

- ◆PDA端末等を用いてRFIDタグに患者情報を登録すると共に、サーバにデータを送信・登録する仕組みを用いることで、通信不能な状況下でも確実なデータ記録・管理を実現します。
- ◆広域災害救急医療情報システム(通称:EMIS)のネットワークインフラを活用した情報連携により、迅速かつ適切な被災者の処置・搬送を実現します。



Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

2. 実証実験の概要

<1>概要

【実施日時】 2006年9月1日(火) 9:00~17:00

【実施場所】 入間基地、神戸空港、仙台空港、NTTデータ新川崎三井ビル

【実施体制】 入間基地:3名 神戸空港:2名 仙台空港:3名 の対応者を配置

<2>目的

(1)以下の項目を実証すること

- ◆関係者(厚生労働省/災害医療センター/災害拠点病院等)が、RFIDタグ付カルテが貼付された患者の追跡(1stSCU⇒2ndSCU⇒受入病院)をリアルタイムに行えること
- ◆各拠点(SCU等)のDMAT隊員等が、PDA端末を用いた情報登録・送信及び検索を容易に行えること
- ◆広域災害・救急医療情報システム(DMAT管理機能等)の情報を活用した運用ができること

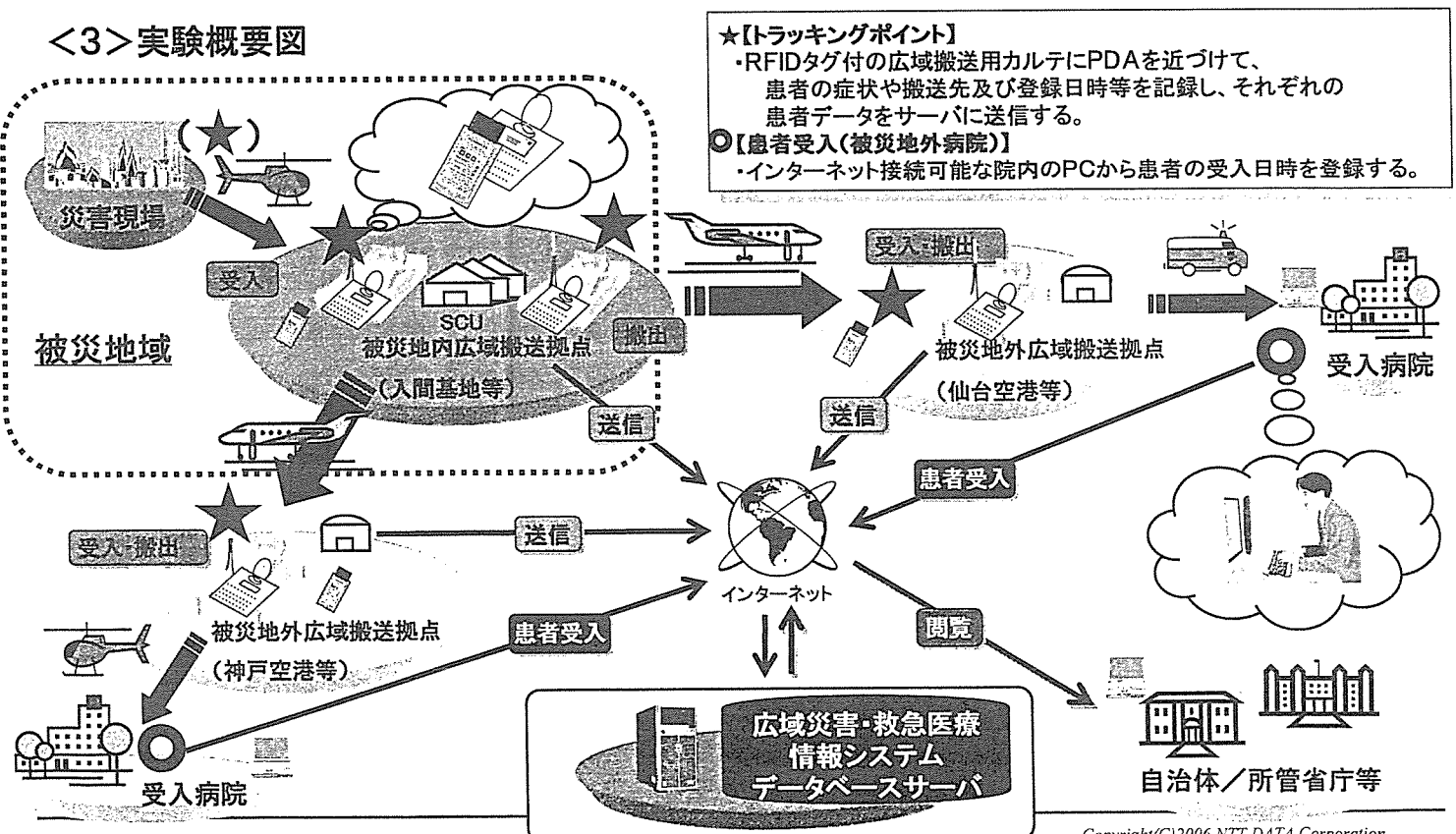
(2)以下の項目を検証すること

- ◆システム実用化の可能性について(正確性・迅速性)
- ◆2004年度版のシステムからの改善点について(情報端末・インターネット通信)
- ◆システム実用化に向けた課題の抽出について(運用面・機能面・技術面)

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

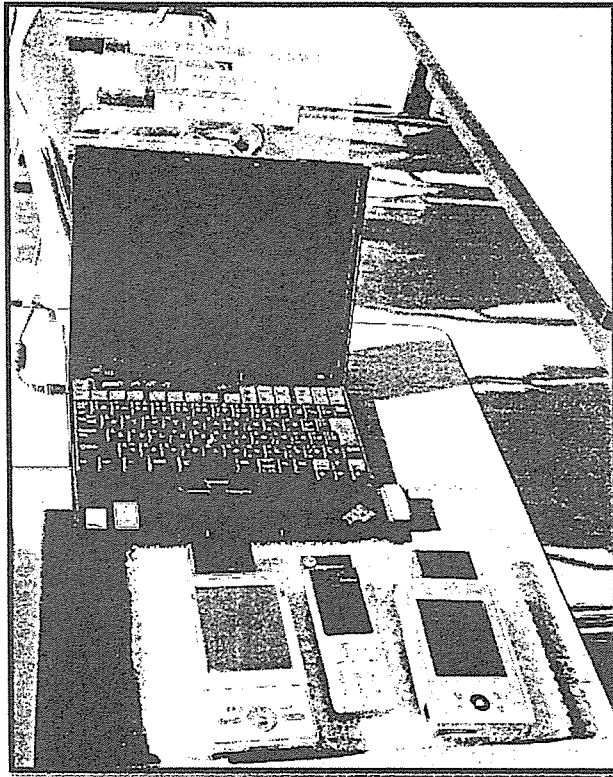
2. 実証実験の概要

<3>実験概要図



Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

3. 実証実験使用機材(1/2)



EMIS
DMAT管理システム
患者トラッキングシステム

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

3. 実証実験使用機材(2/2)

⑦ 広域航空搬送患者区標情報伝達用紙

患者名 [redacted] 性別 男 年齢 22歳

診断名 (広域航空搬送用紙) [redacted]

輸送14時手続 処理済 料収済み
 広域航空搬送患者区標情報伝達済
 広域航空搬送手続済

以下に各項目を照会し、正しい場合は「」で示す。 (一部訂正あり)

患者氏名	氏名	性別	年齢
患者ID	診療科	病室	ベッド
搬送理由	搬送手段	搬送時間	搬送場所

検査結果

WBC 10,900	pH 7.12	Na 15.0
Hb 16.6	pO2 74.0	K 6.9
Htc 48.7	PCO2 28.5	
pH 6.53	BE -13.5	CK 10.5U/L

Xp + 腎臓科 L FANTJ

RFIDタグ

0014

取得施設名: [redacted]
入院予定時間: 時 分
患者氏名: [redacted]
病名: [redacted]
添付への連絡先: 演 末

〇患者到着時は、本用紙をコピーして、トナーでFAXしてください。
ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

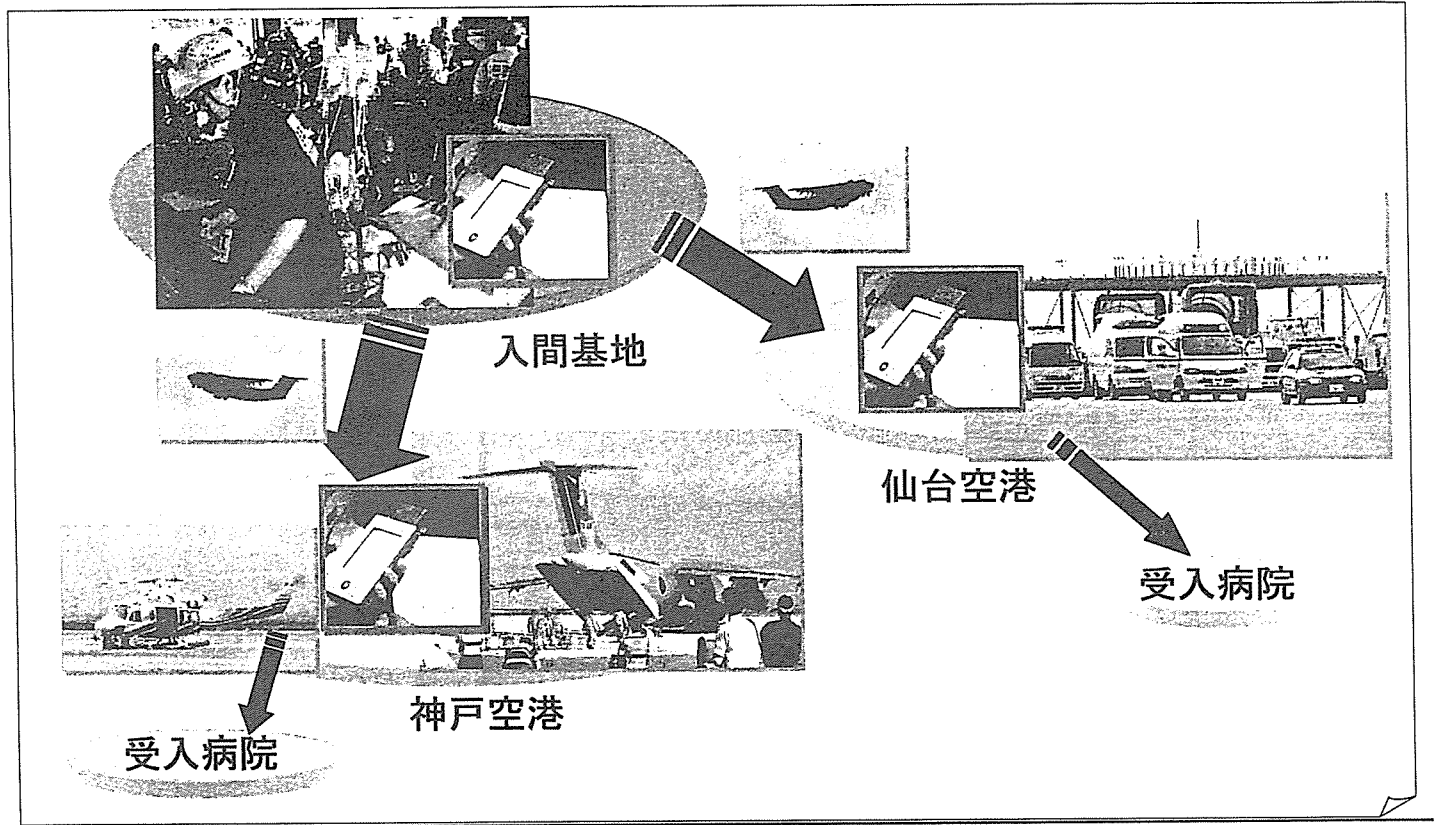
FAX番号: 042-596-5635
国立病院医療情報センター

広域搬送用カルテ(表面)

広域搬送用カルテ(裏面)

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

4. 実証実験の様子(1/3)



Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

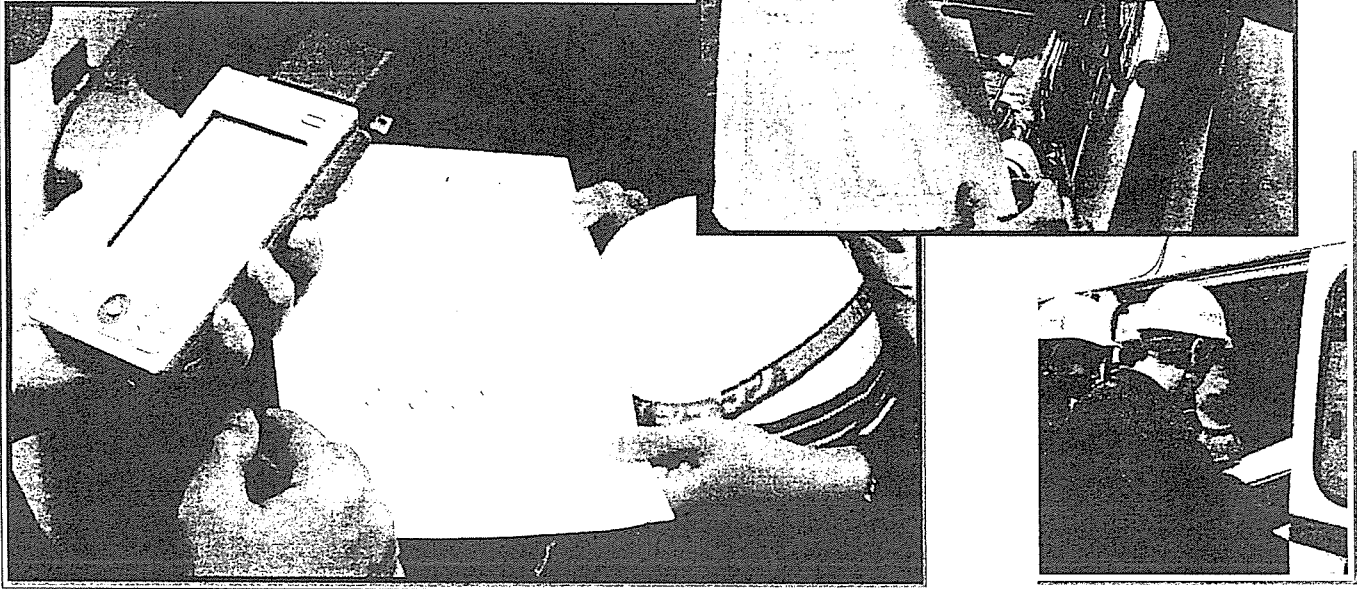
4. 実証実験の様子(2/3)



Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

4. 実証実験の様子(3/3)

ICタグの読み込み／書込み(情報登録)の様子



Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

5. 実証実験の結果(実際のデータと画面)

患者情報登録画面(PDA)

患者情報詳細画面(PC)

タグID	名前	性別	血液型	年齢	住所	電話番号	備考	最終更新機関
0010		男性	不明	37	-	-	-	

ステージ	到達拠点	予定搬送先	判定	症状	判定医	登録時間
1st SCU受入	入間基地	-		クラッシュ症候群		2006/08/01 13:22:50
1st SCU搬出	入間基地	神戸空港		クラッシュ症候群		2006/08/01 13:51:17
2nd SCU受入	神戸空港	中河内救命救急センター		クラッシュ症候群		2006/08/01 16:21:46
2nd SCU搬出	神戸空港	中河内救命救急センター		クラッシュ症候群		2006/08/01 16:53:07
病院受入	中河内救命救急センター	-		クラッシュ症候群		2006/08/01 18:20:00

患者情報詳細画面(PC)

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

5. 実証実験の結果

<結果>

(1) 正確性

① データ登録

各広域搬送拠点において、受入・搬出処理(RFIDタグに対するデータ登録)及びデータ送信処理をほぼ確実に実施することができた。

◆ 入間基地

【受入処理】24/24 (100%)

【搬出処理】23/24 (96%) ※搬出処理実施前に患者が搬出されてしまったケースが1件あり。

【データ送信】47/47 (100%)

◆ 神戸空港

【受入処理】8/8 (100%)

【搬出処理】8/8 (100%)

【データ送信】16/16 (100%)

◆ 仙台空港

【受入処理】7/8 (88%) ※受入時にタグ情報の読み取りができなかったケースが1件あり。

【搬出処理】7/7 (100%)

【データ送信】14/14 (100%)

実証実験データ解析後、
同一患者のデータである
ことが判明した

② データ参照

データ参照拠点(入間基地・神戸空港・仙台空港・NTTデータ新川崎三井ビルの4拠点)において、各広域搬送拠点で随時登録される患者情報を的確に閲覧・確認することができた。

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

5. 実証実験の結果

<結果>

(2) 迅速性

① データ登録

◆各拠点における受入処理・搬出処理共に5~15秒程度で完了することができた。

② データ参照

◆神戸空港及び仙台空港において、入間基地にて登録された患者情報を、患者到着前(入間基地からの搭乗者名簿FAX送信等による、搬送拠点責任者への報告よりも以前)に、搬送拠点責任者に提供することができた。

(3) トレーサビリティ

① 搬送拠点通過情報

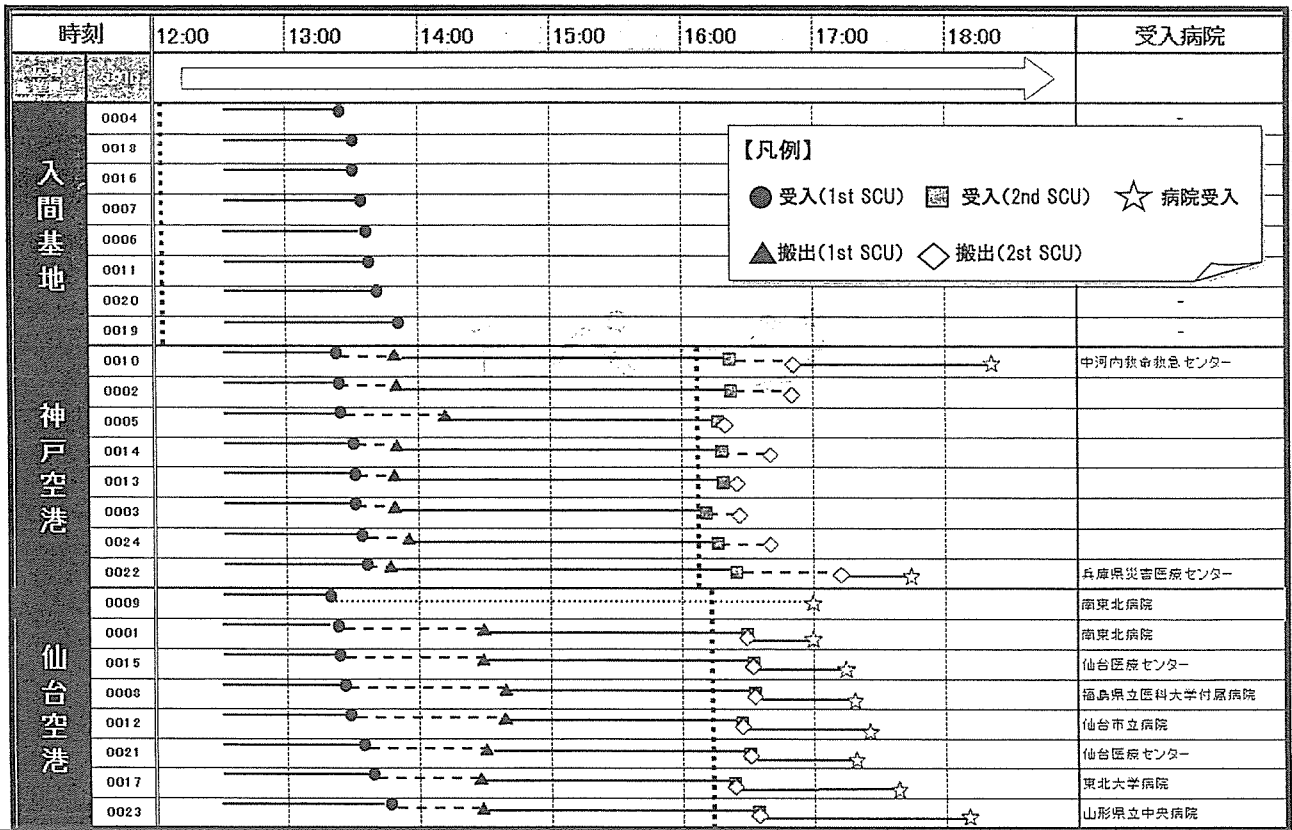
◆全患者の各搬送拠点における通過情報を時系列で捕らえることができた。

② 病院受入情報

◆受入報告(電話連絡もしくは災害医療センターへのFAX送付)があった患者データについては、全て受入情報を登録・把握することができた。

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

5. 実証実験の結果(時系列患者追跡)



Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

6. 考察

<1>システム実用化について

(1) 正確性

システムとして十分運用可能!

① データ登録ができない事例が1件発生した理由

- ◆ 入間基地にて、RFIDタグに対してPDA端末(RFIDリーダ/ライタ)をかざしてデータを書込む際に、処理途中でタグからPDA端末を離れたことにより、データの欠落が発生したと考えられる。

⇒ 本事象については、以下の対応により解消可能

- ・【ハードウェア的対応】 PDA端末書込み処理速度の向上
- ・【ソフトウェア的対応】 書込み処理に関するアプリケーション制御の実施

(2) 迅速性

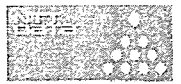
① 操作性の向上

- ◆ PDA端末画面項目/配列の見直し及びキータッチによる項目選択の実現
- ◆ 片手で利用可能なPDA端末の導入

② 情報送信の簡略化

- ◆ PDA端末から直接情報送信が可能

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation



6. 考察

<2>2004年度版からの改善点について

● システム機能・堅牢性が強化！

(1)インターネット通信

- | | |
|-----------------------------|--|
| ①WEB化によるアクセシビリティ向上 | …インターネットにアクセスできれば情報へアクセス可能 |
| ②通信手段の利便性向上 | …端末から直接情報送信が可能 |
| ③搬送拠点に合わせた端末設定の自動化 | …アプリケーションをPDAへ自動でインストール・簡単設定 |
| ④患者の病院収容確認及び受入処理を意識したシステム設計 | …EMISと連携し同じアカウントでアクセス可能／病院への収容状況を一覧で閲覧可能 |

(2)情報端末

- | | |
|---------------------------|---|
| ①端末操作に関するユーザビリティの向上 | …入力項目の整理／受入・搬出処理を意識したロジックの改良／キータッチ操作の適用 |
| ②導入する端末の対応機種種の拡大による実用性の向上 | …耐水性・耐ショック性端末の導入等
⇒小雨のフィールドでも十分利用可能であることが実証された |

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

6. 考察



<3>実用化に向けた今後の課題

● 各側面の課題と対策が明確化！

(1)運用面

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ①SCU受入・搬出時のデータ収集が困難 | ⇒ 情報担当者の配備が必要 |
| ②端末利用者・配備方法の整理 | ⇒ DMATチームへの端末配備と運用の適用 |
| ③PDA端末からの入力時間短縮 | ⇒ PDA端末での入力項目を削減 |

(2)機能面

- | | |
|---------------------------|--|
| ①RFIDリーダー／ライターとPHSの差し替え必要 | ⇒ 両デバイスを併用できる機種種の検討
(リーダー／ライター付携帯等) |
| ②搬送計画に沿った情報が必要 | ⇒ 搬送計画データ作成機能の構築 |
| ③セキュリティに関する整備 | ⇒ 認証方式・アクセス権限の検討 |

(3)技術面

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| ①確実な通信手段の確保 | ⇒ 通信網の整備・衛星回線の活用 |
| ②RFIDタグの書込み領域が少ない(128バイト) | ⇒ 大容量RFIDタグの適用 |
| ③RFIDタグへの書込時、処理途中で不正なデータ書込みが発生する場合あり | ⇒ 書込み処理に関するアプリケーション制御 |

Copyright(C)2006 NTT DATA Corporation

内閣府総合防災訓練「広域医療搬送実働訓練の反省検討会」報告

題名「デジタルペンと携帯電話を用いた広域医療搬送実働訓練のトレーシングシステムの検証」

報告グループ：富士常葉大学小村研究グループ（共同開発者：大日本印刷株式会社、カテナ株式会社）

1. 訓練参加目的

(1) 情報の共有化が出来るかの確認。

傷病者情報の確認が後方の医療機関、関係者に、広範囲に、同時に、即時にできるか

- ・現場の傷病者数、傷病者の搬送状況、傷病者受傷程度の確認。
- ・受け入れ病院での傷病者トリアージタグ情報の事前確認。

(2) 携帯電話（アウト読み取り方式）トレーシングの情報発信簡便性、確実性、即時性の確認

なお今回の実働訓練では、搬送傷病者にトリアージタグを付けて頂いてトレース確認を行った。トリアージタグには傷病者氏名とトリアージタグ区分を主に記載しその情報の広域トレース確認を行った。なおトリアージタグへのデジタルペンに関する入力性、即時性、情報発信確実性、OCR 適正などの検証評価は訓練プログラムの都合上実施せず、可能性のみの追求とした。

2. 訓練参加日時

2006年9月1日9:00～17:00

3. 訓練参加場所及び訓練参加者

■人間基地

富士常葉大学環境防災学部：小村隆史助教授
大日本印刷株式会社：植木、稲葉
カテナ株式会社：奥田、朝日

■神戸空港

大日本印刷株式会社：山本、唐澤

■兵庫県災害医療センター、兵庫医科大学救命救急センター

大日本印刷株式会社：横内

■神戸大学病院

カテナ株式会社：小島

4. 小村研究グループ訓練参加実施概要

■人間基地

トリアージタグへのデジタルペンでの患者情報記入及び神戸空港搬送情報入力

- ①小村研究グループ参加者が傷病者24名事前にトリアージタグにデジタルペン記入（氏名とトリアージタグ区分）Bluetooth通信で情報をサーバーにアップロードする。
該トリアージタグをDMATカルテにホッチキス止め。
なお傷病者症状情報は小村研究グループでは症状情報を得ていないため記載できず。
- ②神戸空港行き傷病者8名選択し收容情報を「人間基地→神戸空港」に更新
- ③神戸空港行き患者8名の收容情報を「神戸空港搬送」に更新
なお②③は携帯電話を用いたトリアージタグQRコード情報発信実施

■神戸空港

搬送傷病者の受け入れ情報と搬送先病院情報の入力

- ①C1搬送機での搬送傷病者到着、DMAT 仮設テント入り口申し送り時に、收容情報を「神戸空港受入」に更新。
- ②搬送先病院情報の入力、更新
携帯電話を用いたトリアージタグQRコード情報発信実施

■兵庫県立災害医療センター

搬送傷病者受け入れ、收容情報を更新。

携帯電話を用いたトリアージタグQRコード情報発信実施

■兵庫医科大学病院

傷病者に正規のトリアージタグ付けられていなかったため、情報搬送傷病者受け入れ、收容情報更新作業断念。

■神戸大学病院

ヘリコプター搬送傷病者は乗ったまま兵庫医大にヘリごと搬送する手順のため情報更新出来ず。

→QRコードの現場読み取りを断念。

■各地で参加者は小村研究グループサイト「災害救急医療総合システム」にアクセス。

上記情報のリアルタイム閲覧、情報共有の確認実施。

5. 結果

(1)リアルタイムに傷病者情報が各地で確認出来、情報の共有化は容易に可能であると確認できた。

傷病者情報はトリアージタグに記入後 Bluetooth 通信で携帯電話からサーバーに情報を送信、位置情報をトリアージタグQRコード携帯電話読み取り情報発信を行った。

この情報は逐次小村研究グループサイト「災害救急医療総合システム」にアップロードされ、各地のサイト閲覧によりリアルタイムに傷病者情報(傷病者現在位置、搬送状況、名前、トリアージタグ区分)の確認、共有化が出来ることが確認できた。

(2)トリアージタグ QR コード読み取り作業は問題なく、情報発信簡便性、確実性、即時性の確認ができた。

入間基地、神戸空港など携帯電話(NTTdocomo, au等)電波環境良好でスムーズに登録作業(10秒程度)完了。

(3)実験担当者の訓練初参加による不慣れでミス1件発生。

今回DMAT標準ではない作業を実験担当者で行ったことと、入間基地では傷病者の初期受入・搬送時に傷病者の傍らで作業が出来ない環境であったため、神戸空港への搬送傷病者8名中、1名のトリアージタグが不備(違う傷病者)が発生し、誤情報が登録された。

また神戸空港では受け入れと搬送が同時で行われる場合は少し混乱し、搬送先情報を得るのに苦慮した。

6. 考察

(1)トリアージタグに書かれた初期現場情報(名前とトリアージタグ区分情報)は即座にデジタル化され、共有化されたが、広域搬送カルテの基礎情報としてリンクされれば更に有効な情報が共有化できると思われる。

今回判明した検討課題

①「災害救急医療総合システム」検索画面、検索方法の改良。

- ・患者位置情報の表示形式の改善(受け入れ、搬送中、到着などの状況把握の容易化)
- ・患者1人1人の情報と同時に全体状況(症状と状態と人数)が把握できる画面の必要性。
- ・検索方法の簡便化

②携帯電話トリアージタグQRコード読み取り、発信者の明確化(簡便に更新出来ることの裏返し弊害)

- ・誰が入力したか、誰が更新したかを明確にする必要あり。
- ・混乱時には既に読み取ったタグを、また別の人がQRコードで読み、別情報を発信することもあり得る。

③搬送時のトリアージタグミシン目切れ→試験手作りサンプル仕様のため→解決可

上記課題は技術的にシステム設計や運用により改良可能

(以上)

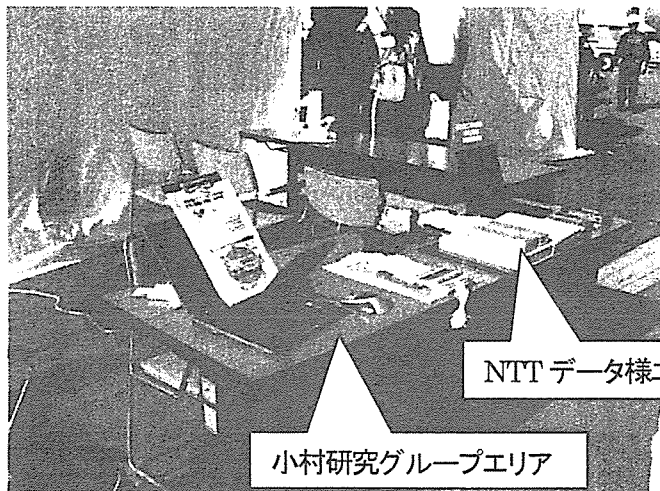
題名「デジタルペンと携帯電話を用いた広域医療搬送傷病者トレーシングシステムの検証」参考資料

■人間基地ホワイトボード

■人間基地搬送状況



■神戸空港 仮設テント前実験場所



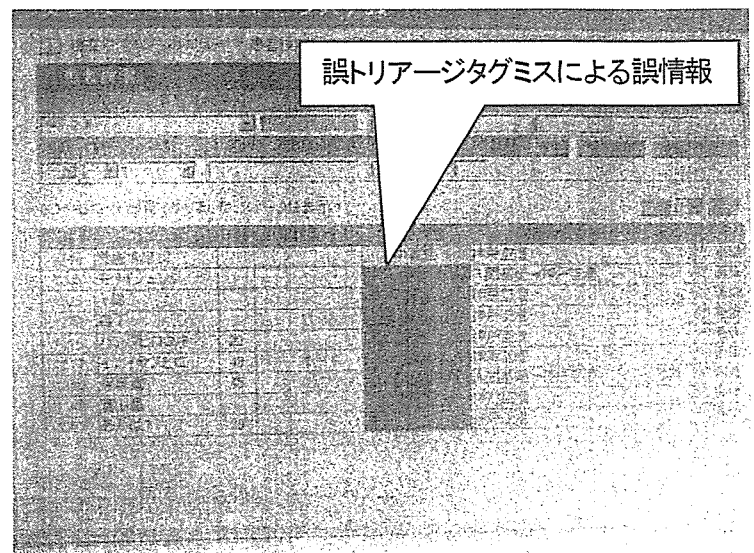
■神戸空港 C1 機到着傷病者搬送



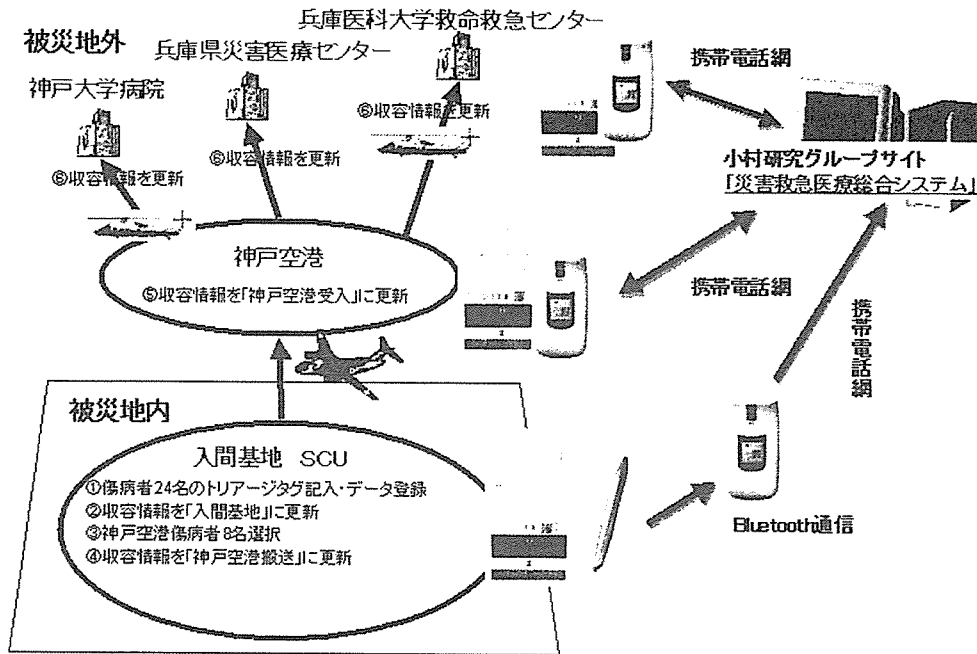
■神戸空港ホワイトボード

患者No	氏名	傷病名	到着時間	出発時間	搬送先施設名	備考
①	長野 マチコ	脚挫傷	16:15	16:24	神戸大学	(A)
②	小林 千代	アライズ	16:22	16:55	東河内	中河内地区
③	二宮 功男	アライズ	16:24	16:52	兵庫国大	(A)
④	村上 玉本	肋骨骨折	16:13	16:30	川崎国大	(A)
⑤	石井 マチコ	アライズ	16:20	16:28	奈良国大	(A)
⑥	高橋 功男	頭部外傷	16:16	16:43	中央市民	神戸市立
⑦	小川 功男	アライズ	16:18	16:42	中央市民	神戸市立
⑧	村上 功男	アライズ	16:26	17:15	HEMC	HEMC 神戸

■小村研究グループサイト「災害救急医療総合システム」検索画面



小村研究グループ訓練参加実施概要



Copyright © 富士薬業大学医療福祉学院小村研究室 カテナ株式会社 大日本印刷株式会社

トリアージタグ記入例

DNP

1211	モリタマサヒロ
24	
4	2006/09/01 13:40

0 ① ② ③

腹内出血

http://www.ashw2.tohoku-e.net/pt/viewPatient?method=load&tagCode=1211&index=3

災害救急医療情報総合システム

現在のページ → メニュー → 患者情報検索 → 患者情報詳細

患者情報詳細		更新			
トリアージタグ番号	1211	タグ画像			
患者氏名	モリタマサヒロ				
患者性別	男				
患者年齢	24				
患者電話番号					
患者住所					
現在の患者状態					
現在の收容先機関名	神戸大学病院				
現在の收容先・收容日時	2006/09/01 16:21:06				
現在の收容先電話番号	078-382-5111				
現在の收容先住所	神戸市中央区楠町7丁目5-2				
現在の收容先HP URL	http://www.hosp.kobe-u.ac.jp/intro/index.html				
初回トリアージ情報	2006/09/01 13:40:48に、入間基地にて、入間Bが初回トリアージを実施しました。				
搬送順	收容日時	收容先機関名	患者状態	收容先電話番号	收容先住所
4 (現在)	2006/09/01 16:21:06	神戸大学病院		078-382-5111	神戸市中央区楠町7
3	2006/09/01 16:16:40	神戸空港			
2	2006/09/01 14:18:08	入間基地→神戸空港			
1	2006/09/01 13:40:48	入間基地			

更新 戻る

「災害救急医療情報総合システム」検索画面例

平成18年度
DMAT 指定病院連絡会議
資料

DMAT連絡会議

日時：平成19年1月19日(金)午後6時20分～

場所：名古屋国際会議場 白鳥ホール

DMAT連絡会議

日時 : 平成19年 1月19日(金) 18:20~18:50
会場 : 名古屋国際会議場 白鳥ホール
(於:第12回日本集団災害医学会総会 A会場)

議事次第

1. 災害医療センター院長 挨拶
2. 厚生労働省医政局指導課 挨拶
3. DMATの現状と近年の動向
4. 質疑応答
5. その他

独立行政法人国立病院機構
災害医療センター
DMAT事務局

No.	県名	研修終了病院名
1	北海道	1 札幌医科大学医学部附属病院②
2		2 函館市立函館病院
3		3 医療法人社団カスライアンス日鋼記念病院
4		4 国立大学法人旭川医科大学病院
5		5 王子総合病院
6		6 旭川赤十字病院
7	青森県	1 八戸市立市民病院②
8		2 国立大学法人弘前大学医学部附属病院
9		3 青森県立中央病院
10	岩手県	1 岩手県立久慈病院
11		2 岩手県立大船渡病院
12		4 岩手県立磐井厚生病院
13		5 岩手県立花巻厚生病院
14	宮城県	1 古川市立病院(大崎市民病院)
15		2 国立大学法人東北大学医学部附属病院
16		3 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター
17		4 仙台市立病院
18		5 仙台赤十字病院
19	秋田県	1 国立大学法人秋田大学医学部附属病院
20		2 秋田組合総合病院
21		3 平鹿総合病院
22	山形県	1 山形県立中央病院
23		2 国立大学法人山形大学医学部附属病院
24		3 公立置賜総合病院
25		4 山形県立日本海病院
26	福島県	1 白河厚生総合病院
27		2 福島県立医科大学医学部附属病院②
28		3 会津中央病院
29		4 太田総合病院附属太田西ノ内病院
30	茨城県	1 筑波メディカルセンター病院
31		2 茨城県立中央病院
32		3 取手協同病院
33		4 取手北相馬保健医療センター医師会病院
34		5 茨城西南医療センター病院
35	栃木県	1 自治医科大学附属病院
36		2 済生会宇都宮病院
37		3 栃木県立がんセンター
38	群馬県	1 伊勢崎市民病院
39		2 前橋赤十字病院
40		3 国立大学法人群馬大学医学部附属病院
41		4 日高病院
42		5 利根中央病院
43	埼玉県	1 川口市立医療センター
44		2 埼玉医科大学総合医療センター
45		3 獨協医科大学越谷病院
46		4 さいたま赤十字病院
47		5 深谷赤十字病院
48	千葉県	1 日本医科大学千葉北総病院
49		2 総合病院国保旭中央病院
50		3 千葉県循環器病センター
51		4 千葉県救急医療センター
52		5 国保直営総合病院君津中央病院
53		6 国保松戸市立病院
54		7 千葉大学医学部附属病院
55		8 成田赤十字病院
56	東京都	1 昭和大学病院
57		2 東京医科大学病院④
58		3 東京女子医科大学東医療センター
59		4 東京医科大学八王子医療センター
60		5 青梅市立総合病院
61		6 医療法人社団誠和会白鷺橋病院
62		7 独立行政法人国立病院機構災害医療センター
63		8 国立国際医療センター
64		9 国立大学法人東京医科歯科大学医学部附属病院
65		10 武蔵野赤十字病院
66	神奈川県	1 藤沢市民病院
67		2 聖マリアンナ医科大学病院
68		3 横浜国立大学附属市民総合医療センター
69		4 北里大学病院
70		5 東海大学医学部附属病院②
71		6 津久井赤十字病院
72		7 平塚市民病院
73		8 川崎市立川崎病院

No.	県名	研修終了病院名
74	新潟県	1 長岡赤十字病院
75		2 新潟市民病院
76		3 新潟県立中央病院
77		4 下越病院
78		5 村上総合病院
79		6 佐渡総合病院
80	富山県	1 富山県立中央病院
81		2 国立大学法人富山大学附属病院②
82		3 厚生連高岡病院
83	石川県	1 国立大学法人金沢大学医学部附属病院②
84		2 独立行政法人国立病院機構金沢医療センター②
85		3 金沢医科大学病院
86		4 石川県立中央病院
87	福井県	1 福井県立病院
88		2 国立大学法人福井大学医学部附属病院
89	山梨県	1 山梨県立中央病院
90		2 富士吉田市立病院
91	長野県	1 国立大学法人信州大学医学部附属病院
92		2 佐久総合病院
93		3 相澤病院
94		4 諏訪赤十字病院
95		5 伊那中央病院
96		6 飯田市立病院
97	岐阜県	1 国立大学法人岐阜大学医学部附属病院
98		2 中津川市民病院
99	静岡県	1 静岡県立総合病院
100		2 順天堂大学医学部附属静岡病院
101		3 聖隷三方原病院
102		4 県西部浜松医療センター
103		5 静岡済生会総合病院
104		6 浜松医科大学医学部附属病院
105		7 沼津市立病院
106		7 静岡赤十字病院
107	愛知県	1 半田市立半田病院
108		2 豊橋市民病院
109		3 名古屋第二赤十字病院
110		4 藤田保健衛生大学病院
111		5 小牧市民病院
112		6 社会保険中京病院
113		7 厚生連安城厚生病院
114		8 独立行政法人名古屋医療センター
115		9 愛知医科大学病院
116		10 名古屋第一赤十字病院
117		11 名古屋掖済会病院
118	三重県	1 松阪市民病院
119		2 国立大学法人三重大学医学部附属病院
120		3 三重県立総合医療センター
121	滋賀県	1 恩賜財団済生会滋賀県病院
122		2 長浜赤十字病院
123		3 大津市民病院
124		4 大津赤十字病院
125		5 滋賀医科大学附属病院
126		6 近江八幡市民病院
127	京都府	1 市立福知山病院
128		2 独立行政法人国立病院機構京都医療センター
129		3 京都府立与謝の海病院
130		4 京都第一赤十字病院
131		5 京都市立病院
132		6 済生会京都府病院
133		7 南丹病院
134	大阪府	1 大阪府立急性期・総合医療センター
135		2 大阪府立千里救命救急センター
136		3 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
137		4 大阪府立泉州救命救急センター
138		5 大阪市立総合医療センター
139		6 大阪府立中河内救命救急センター
140		7 国立大学法人大阪大学医学部附属病院
141		8 近畿大学医学部附属病院
142		9 大阪府三島救命救急センター
143		10 関西医科大学附属滝井病院
144	兵庫県	1 国立大学法人神戸大学医学部附属病院②
145		2 兵庫県災害医療センター
146		3 兵庫医科大学病院
147		4 赤穂市民病院
148		5 神戸市立中央市民病院
149		6 西脇市立西脇病院

No.	県名	研修終了病院名
150	奈良県	1 奈良県立医科大学附属病院
151		2 奈良県立奈良病院
152	和歌山県	1 和歌山県立医科大学附属病院
153		2 日本赤十字社和歌山医療センター
154	鳥取県	1 国立大学法人鳥取大学医学部附属病院
155		2 鳥取県立中央病院
156	島根県	1 国立大学法人島根大学医学部附属病院
157		2 島根県立中央病院
158	岡山県	1 川崎医科大学附属病院
159		2 岡山赤十字病院
160		3 津山中央病院
161	広島県	1 福山市民病院
162		2 国立大学法人広島大学病院
163		3 独立行政法人国立病院機構呉医療センター
164		4 広島総合病院
165		5 県立広島病院
166	山口県	1 国立大学法人山口大学医学部附属病院
167		2 独立行政法人国立病院機構岩国医療センター
168		3 山口県立総合医療センター
169	徳島県	1 徳島県立中央病院
170		2 徳島赤十字病院
171	香川県	1 香川県立中央病院
172		2 国立大学法人香川大学医学部附属病院
173		3 三豊総合病院
174		4 回生病院
175	愛媛県	1 愛媛県立中央病院②
176		2 国立大学法人愛媛大学医学部附属病院
177		3 松山赤十字病院
178	高知県	1 高知医療センター(県・事業団)
179		2 高知赤十字病院
180		3 高知大学医学部附属病院
181	福岡県	1 国立大学法人九州大学病院
182		2 独立行政法人国立病院機構九州医療センター
183		3 久留米大学病院
184		4 福岡赤十字病院
185	佐賀県	1 佐賀県立病院好生館
186	長崎県	1 佐世保市立総合病院
187		2 長崎県難病医療圏組合五島病院
188		3 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
189		4 地方行政独立行政法人北松中央病院
190		5 長崎県立島原病院
191	熊本県	1 独立行政法人国立病院機構熊本医療センター
192		2 国立大学法人熊本大学医学部附属病院
193		3 熊本赤十字病院
194	大分県	1 国家公務員共済組合連合会新別府病院
195		2 中津市立中津市民病院
196		3 大分大学医学部附属病院
197		4 大分県立病院
198		5 大分赤十字病院
199	宮崎県	1 宮崎県立宮崎病院
200		2 宮崎大学医学部附属病院
201		3 都城市郡医師会病院
202	鹿児島県	1 鹿児島医師会病院
203		2 鹿児島市立病院
204		3 鹿児島赤十字病院
205	沖縄県	1 国立大学法人琉球大学医学部附属病院
206		2 浦添総合病院

DMATの現状と近年の動向

厚生労働省医政局指導課

DMATの現状

- 機材整備
 - 172施設に機材整備
- 要員養成
 - 災害医療センター、兵庫県災害医療センターで研修実施
 - 現在218チーム養成済み
- EMISによる情報連絡体制
 - 平成18年8月より試行運用開始
- 都道府県DMATの運用
 - 3都道府県で実施

**「東海地震応急対策活動要領」に基づく
具体的な活動内容に関わる計画**

**大規模地震に関する大綱・活動要領・
具体的な計画の策定状況**

対象地震	大綱		応急対策活動要領		具体的な活動内容に係る計画	
	策定	最新	策定	最新	策定	最新
首都直下地震 (南関東地域)	H4. 8. 21 (南関東)	H17. 9. 27	S63. 12. 6 (南関東)	H18. 4. 21 (首都直下)	作成中	—
東海地震	H15. 5. 29	—	H15. 12. 16 (予知型)	H18. 4. 21 (予知・突発型)	H16. 6. 29 (予知型)	H18. 4. 21 (予知・突発型)
東南海・南海地震	H15. 12. 16	—	H18. 4. 21	—	作成中	—